

キャリア学習「人生の先輩から学ぼう」

昨日9人の講師の先生をお迎えして講座学習をおこないました。どの方も二見中1年生のために忙しい中、時間を作って来てくださいました。またこの50分のためにどんな話をしようかと、たくさん時間をかけて準備をしてくださったようです。本当に嬉しくありがたいことです。みんなはこれからもっと自分の生き方を考えていかないとはいけません。講師の先生方のように、大人になったときに、中学生に自分の仕事や自分の生き方について話せる人になってほしいなと思いました。

イラストレーター

ぼくはあまり手を挙げなかったけど、物を作るのが大好きで、小さい頃から工作やブロックが好きで、友達には、恥ずかしくて言えないし、親には「いい歳してまだブロックで遊んどるのか」と呆れられるほどです。小学生の時の夢は建築士でした。でも、ドラマとかTVではもっと真面目な仕事ばかりで、今どきそういう仕事にはつけないと思っていました。でも、今回の講座で物を作る(造る)だけでなく、物を描くという方向もあることを知り、自分の趣味と結びつきそうで、とても良い仕事だし、自分にも向いている仕事だと思うので、中2中3のときの進路の学習のときに役立つと思いました。いくつになっても楽しいことを無くさず、毎日やるようにします。良いお話を聞かせていただいて、ありがとうございます。(男子)



製造業(金属加工)

僕は今回のキャリア学習で、将来の道を考えるきっかけとなったので、来てくださって本当にありがとうございます。

崎野さんは35歳という若い年齢で4代目の社長をやっていると聞き、とてもすごいと思いました。そして今回のキャリア学習(製造業)で、とても大切にしないといけないことは「逃げずにとことん挑戦する」ということです。やっぱり逃げてしまいたいと思うことがあるけど、崎野さんは逃げずに一生懸命努力することで、日本中



のみんなに喜んでもらえると思うとすごくやる気ができると言われてたので、僕もがんばっていかないといけないんだなと思いました。そして、崎野さんの何でも前向きに考えて行動しているところをととても尊敬しました。例えば「新4K」などの自分で作ったものを実際に実現していることなどすごく前向きにされているなと思いました。二見中学校の生徒のために時間をかけてくれてありがとうございます。(男子)

義肢装具士

義肢装具士

と聞いた時はあまりパツとしなかったです。でも義足や義手を作っている職人さんと聞いたから、よくニュースや24時間テレビで取り上げられているやつかと理解しました。でもテレビを見ているときはあまり装具に目をつけていなく、人を見ていました。足や手がなくても頑張っているんやなと。あまり装具のことを知らなかったの、今日知れて良かったです。義足をつくる時、私はくつ屋みたいにサイズごとに分かれているものだと思っていました。でも、すべてオーダーメイド、そりゃそうかと今では思いますが、驚きました。義手の写真や最後にあった「義足はどっち？」の写真を見て、とてもリアルで本当に本物の足ではないのか？と思いました。また、向いている人材で、「ものづくりが好き」と、「人の役に立ちたい」と「医療への興味」をあげられていました。森本さんが言っていたように、私も人の役に立ちたいという気持ちが一番大切だと思いました。他人のことを思っている行動だと思うので、そういう気持ちがなかったら、この仕事はできないだろうと私は思いました。それに、人だけでなく、動物の役に立ちたいと、そういう人がいるだけで安心できます。手や足のない人は、私の周りにはいないけど、この先の人生、義肢装具に関わることがあるかもしれません。なので、今日は話が聞けてとてもいい機会になりました。(女子)



ツアーコンダクター

ツアーコンダクターの仕事は思っていたよりもたくさんありました。オススメの場所を提案、修学旅行に添乗する。パンフレットを作る等もありました。福西さんがツアーコンダクターになった理由が少し自分にもあてはまると思います。私も旅行に行く前は楽しすぎて、たくさん行きたい所や食べたいものなどを考えます。ツアーコンダクターになったら、自分が行けないときもあるけど、計画できるので、自分にも向いていると思います。旅行は「形の無い商品」と教わりました。たくさんの種類のプランがあるけれど、お客様にピッタリなスケジュールを提案できることはすごいと思いました。福西さんは就職活動でも難しそうなテストや課題でもクリアできてすごいです。別に昔からツアーコンダクターになりたいわけではなくおっしやっていたので、今自分がいいと思う職業の他にもたくさんの仕事について学んでいきたいです。(女子)

